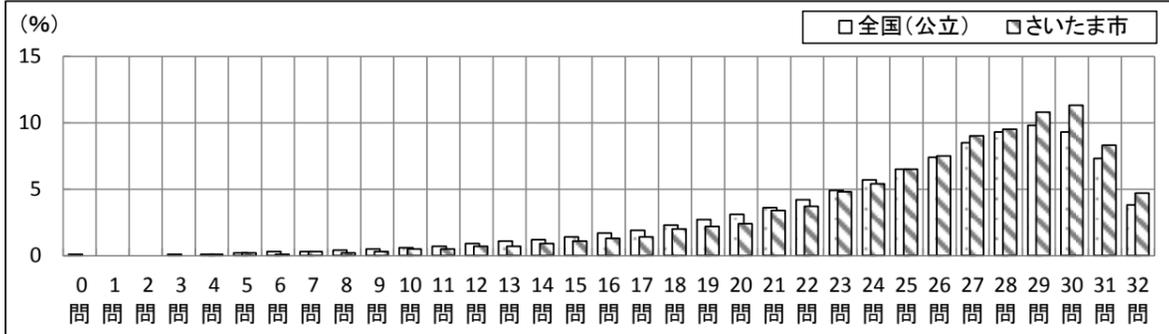


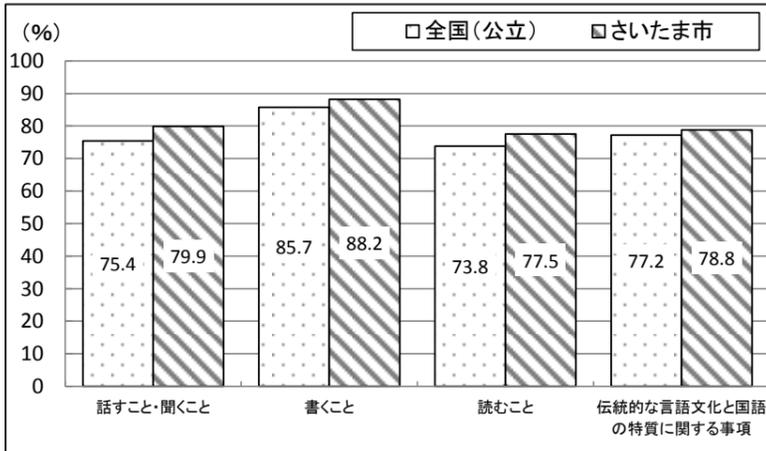
1 全体の正答率 (%)

さいたま市	全国(公立)
80	77.4

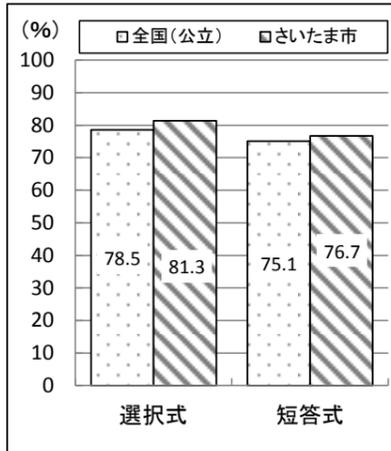
2 正答数分布 (正答数ごとの生徒の割合)



3 領域等別正答率



4 問題形式別正答率



◎: 成果[対象となる設問] ▲: 課題[対象となる設問]

【結果概要】

◎書いた文章を読み返し語句の使い方を工夫して書くこと、文章の構成を工夫して分かりやすく書くこと、目的や意図に応じて材料を集め自分の考えをまとめること、語句の意味を理解し文脈の中で適切に使うことなどについては、相当数の生徒ができている。[3一、3二、5一、5二、9三]

▲相手に分かりやすいように語句を選択して話すことに課題がある。[7一]

▲楷書と行書との違いの理解に課題がある。[9六1]

【指導のポイント】

○インタビューなどを通して情報を集める際には、目的や内容を明確にした上で、相手に分かりやすく伝えるように語句を選んで話すように指導する必要がある。

○書写の指導では、楷書と行書のそれぞれの特徴について理解することができるように指導する必要がある。その際、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うようにすることに留意する必要がある。さらに、実際に文字を書く中で「行書」や「筆脈」などの学習する際に用いる言葉について理解することができるように指導することも重要である。

5 設問別平均正答率等

※「学年」はその内容を学習する学年です。

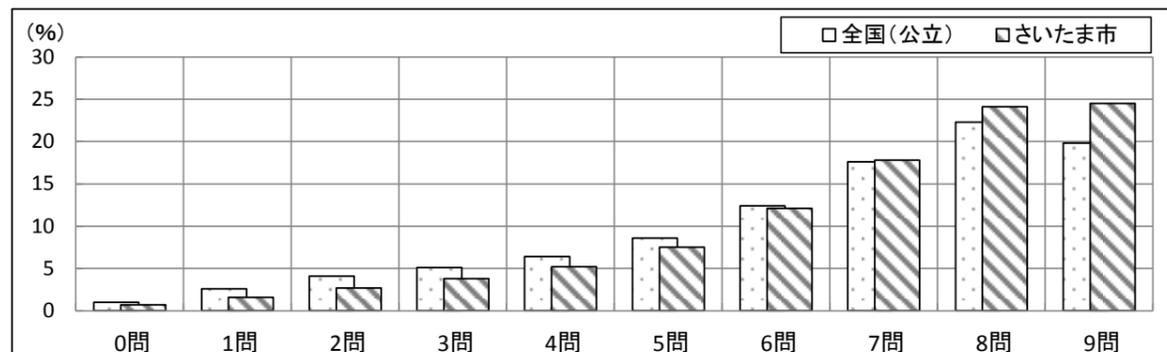
設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等・学年				正答率(%)		無解答率(%)		
		聞話 くす こと こと	書 く こと	読 む こと	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 する 事 項	市	全 国 (公 立)	市	全 国 (公 立)	
1	画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する				2年	選択式	85.4	81.4	0.2	0.1
2一	スピーチをより分かりやすくするためにイラ図を提示する箇所として適切なものを選択する	2年				選択式	90.7	87.8	0.1	0.1
2二	スピーチの構成を説明したものととして適切なものを選択する	1年				選択式	83.5	79.6	0.2	0.3
3一	それまでががんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す		2年			短答式	88.1	86.0	3.1	3.3
3二	一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する		2年			選択式	87.4	84.3	0.2	0.2
4一	見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する			1年		選択式	85.7	81.0	0.2	0.2
4二	文章について説明したものととして適切なものを選択する			1年		選択式	75.6	72.9	0.2	0.3
5一	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものととして適切なものを選択する		2年			選択式	82.8	79.8	0.1	0.2
5二	〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使われる情報として適切なものを選択する		1年			選択式	94.4	92.7	0.1	0.2
6一	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する			1年		選択式	78.3	74.8	0.5	0.5
6二	「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかつた」の意味として適切なものを選択する			1年		選択式	64.2	60.1	0.6	0.5
7一	先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す	1年				短答式	60.9	54.0	4.1	5.1
7二	結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する	1年				選択式	84.5	80.4	0.4	0.4
8一	詩について説明したものととして適切なものを選択する			2年		選択式	84.5	81.9	0.6	0.6
8二	二人の交流の様子について説明したものととして適切なものを選択する			1年		選択式	76.7	72.3	0.8	0.8
9一1	漢字を書く(組織のキボを大きくする)				2年	短答式	64.3	62.8	14.5	15.8
9一2	漢字を書く(雨で運動会がエンキになる)				2年	短答式	61.4	62.3	14.4	13.5
9一3	漢字を書く(店をイトナむ)				2年	短答式	86.8	85.4	8.0	8.3
9二1	漢字を読む(覚悟を決める)				2年	短答式	99.0	98.7	0.6	0.9
9二2	漢字を読む(鮮やかな色合い)				2年	短答式	94.3	94.5	0.6	0.8
9二3	漢字を読む(水が垂れる)				2年	短答式	95.3	94.3	0.8	1.1
9三ア	適切な語句を選択する(えりを正して話を聞く)				1年	選択式	77.5	76.9	0.9	0.7
9三イ	適切な語句を選択する(よい結果を早く出したときは、急がば回れといわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ)				1年	選択式	66.9	61.4	0.7	0.7
9三ウ	適切な敬語を選択する(先生もこの書店をよくご利用になるのですね)				2年	選択式	88.8	85.7	0.6	0.7
9三エ	適切な語句を選択する(私は映画が大好きです。ただし、映画なら何でも見るわけではありません)				1年	選択式	96.6	95.5	0.5	0.6
9三オ	適切な語句を選択する(チームの勝利を確信する)				2年	選択式	95.5	94.2	0.6	0.6
9四	言い直した意図として適切なものを選択する				2年	選択式	93.8	91.6	0.6	0.7
9五	話合いの記録として適切な言葉を考える				1年	短答式	38.4	35.8	13.8	13.1
9六1	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する				1年	選択式	43.1	49.6	0.9	1.0
9六2	行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する				1年	選択式	67.9	63.7	1.1	1.1
9七1	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す(あや□)				2年	短答式	78.7	77.2	3.2	3.9
9七2	「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する				1年	選択式	85.1	78.5	1.1	1.3

※網掛けは、さいたま市の平均正答率が全国を下回っている設問です。

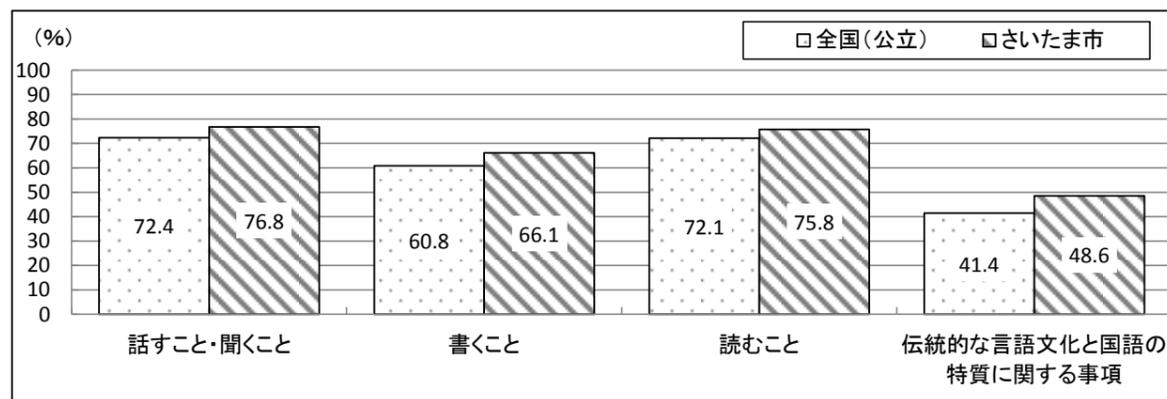
1 全体の正答率 (%)

さいたま市	全国(公立)
76	72.2

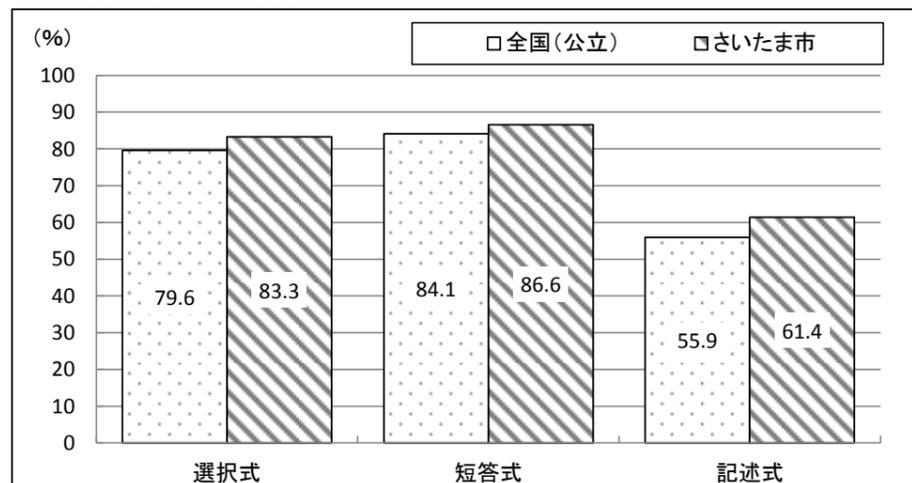
2 正答数分布 (正答数ごとの生徒の割合)



3 領域等別正答率



4 問題形式別正答率



5 設問別平均正答率等

※「学年」はその内容を学習する学年です。

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等・学年				問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
		聞話すこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		市	全国(公立)	市	全国(公立)
1一	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する			2年		選択式	86.7	84.1	0.1	0.1
1二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す			1年		短答式	86.6	84.1	4.2	5.3
1三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く		1年	1年	1年	記述式	48.6	41.4	11.5	14.3
2一	スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する	2年				選択式	89.3	85.4	0.2	0.2
2二	聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する	2年				選択式	78.9	74.2	0.2	0.3
2三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	1年	2年			記述式	62.4	57.6	4.6	5.8
3一	下書きについての説明として適切なものを選択する		1年			選択式	80.0	75.3	0.3	0.3
3二	太宰治と他の作家との関係を書き直したのとして適切なものを選択する			1年		選択式	81.5	78.7	0.6	0.5
3三	アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く		1年			記述式	73.2	68.8	5.9	7.4

◎: 成果[対象となる設問] ▲: 課題[対象となる設問]

【結果概要】

◎登場人物の言動の意味を考え内容を理解すること、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解することについて、相当数の生徒ができています。[1一、1二]

◎目的に応じて資料を効果的に活用して話すことについて、相当数の生徒ができています。[2一]

▲表現の仕方についてとらえ自分の考えを書くことに課題がある。[1三]

▲相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことに課題がある。[2三]

【指導のポイント】

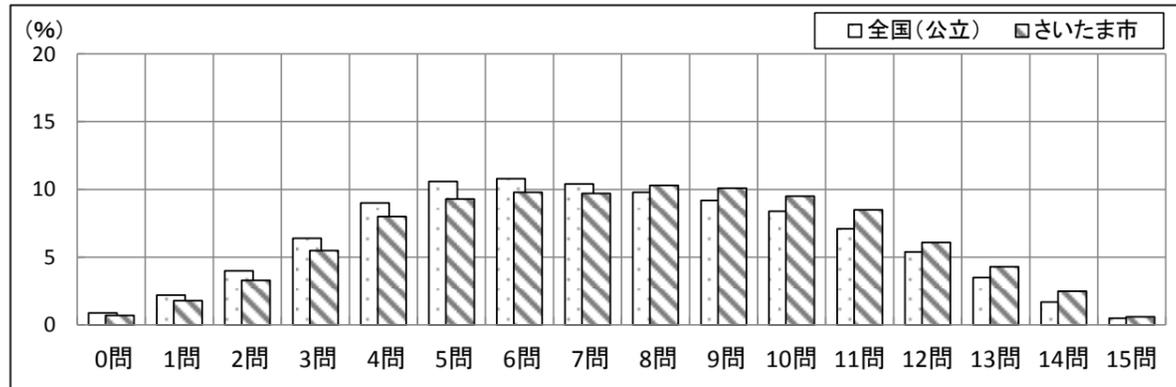
○文学的な文章を読んで、感じたことや考えたことなどについて交流することは、自分のものの見方や考え方を広げたり、読書の楽しさを味わったりする上で重要である。例えば、印象に残った場面や描写を取り上げ、なぜその場面や描写が印象に残ったのかを具体的に説明する学習活動が有効である。その際、取り上げた場面や描写がどのような内容であるのかを明確にしたり、感じたことや考えたことを具体的に説明したりすることができるように指導する必要がある。さらに、比喩や反復などの表現の技法についての知識を生かすなど、これまでの学習を踏まえた指導をすることも大切である。

○スピーチをする際には、自分の伝えたいことが聞き手に対して十分に伝わる内容や表現の仕方になっているかを考えて話を構成し、場の状況や聞き手の様子に応じて話すように指導する必要がある。

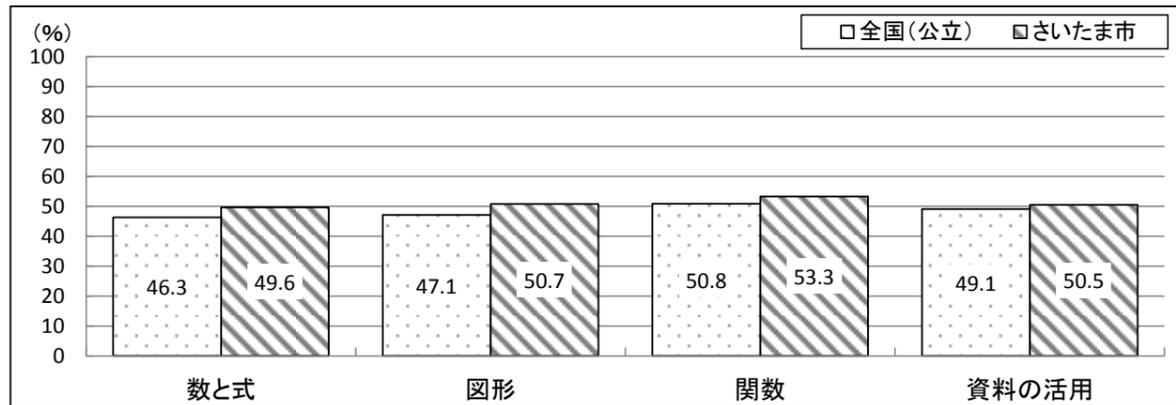
1 全体の正答率 (%)

さいたま市	全国(公立)
51	48.1

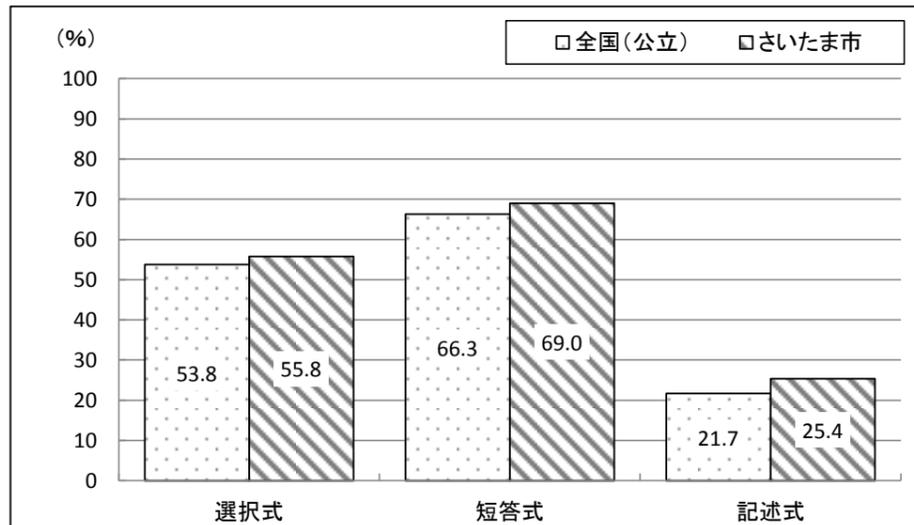
2 正答数分布 (正答数ごとの生徒の割合)



3 領域別正答率



4 問題形式別正答率



5 設問別平均正答率等

※「学年」はその内容を学習する学年です。

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域・学年				正答率(%)		無解答率(%)		
		数と式	図形	関数	資料の活用	問題形式	市	全国(公立)	市	全国(公立)
1(1)	隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚がある模様としたときに、残りの3枚にできる模様を選ぶ		中1			選択式	69.6	67.5	0.2	0.2
1(2)	四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形BEFGの模様になるとき、どのような回転移動になるかを説明する		中1			記述式	14.9	14.0	18.3	17.7
1(3)	与えられた模様となるような万華鏡を作りたいときに、その基となる正三角形の模様を選ぶ		中1			選択式	55.2	52.8	0.4	0.3
2(1)	六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める	中1				短答式	81.8	80.4	1.0	1.3
2(2)	六角形をn個並べて6本ずつ囲んだときに、2回数えているストローをnを用いた式で表す	中1				短答式	48.1	44.1	7.3	8.3
2(3)	六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を、 $6+5(n-1)$ という式で求めることができる理由を説明する	中1				記述式	18.9	14.5	21.3	23.4
3(1)	与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万m ³ であったことを表す点を求める			中1		短答式	93.0	90.8	2.5	3.5
3(2)	与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万m ³ になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する			中2		記述式	20.3	18.4	31.4	33.4
3(3)	与えられた式から、aの変域に対応するbの変域を求める			中2		短答式	46.7	43.2	16.5	17.5
4(1)	2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する		中2			記述式	53.9	44.1	16.6	20.3
4(2)	∠BADと∠CBEが20°のとき、∠BEAの大きさを求める		中2			短答式	65.4	60.0	9.4	10.9
4(3)	点Dと点EをBD=CEの関係を保ったまま動かしたとき、∠BFDの大きさについて、正しい記述を選ぶ		中2			選択式	45.0	44.5	1.0	0.9
5(1)	1週間の総運動時間が420分のとき、含まれる階級の度数を求める				中1	短答式	78.8	79.3	5.7	5.9
5(2)	全校生徒の女子の中で、若菜さんの1週間の総運動時間が長い方かどうかを判断するための根拠となる値として適切なものを選ぶ				中1	選択式	53.5	50.3	0.7	0.8
5(3)	「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する				中1	記述式	19.1	17.6	30.1	31.2

※網掛けは、さいたま市の平均正答率が全国を下回っている設問です。

◎: 成果[対象となる設問] ▲: 課題[対象となる設問]

【結果概要】

◎問題場面における考察の対象を明確にとらえることは、相当数の生徒ができています。[2(1)]

◎筋道を立てて考え、証明することは、相当数の生徒ができています。[4(1)]

▲事象と式の対応を的確にとらえ、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。[2(3)]

▲事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。[3(2)]

▲資料の傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。[5(3)]

【指導のポイント】

○事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるよう指導する際は、事柄の意味を事象に即して読み取り、読み取った意味に基づいて、根拠を明確にすることが大切である。

○問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」とその「用い方」について考え、説明することができるように指導する際は、解決の過程を振り返り、そのときに用いた方法について、「用いるもの」とその「用い方」の両方を指摘し、的確に説明できるように指導することが大切である。

○資料の分布の様子をとらえる場面を設定し、資料の傾向を的確にとらえて判断できるように指導することが大切である。